



2019年11月12日

各位

会社名 株式会社チノール
代表者名 代表取締役社長執行役員 豊田三喜男
(コード番号 6850 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員経営管理本部長 大森一正
(TEL 03-3956-2115)

営業外収益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年3月期第2四半期連結会計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)において営業外収益を計上しました。今回の営業外収益の計上および最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月13日に公表しました2020年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当第2四半期に連結会計期間において、明陽電機株式会社(以下「明陽電機」)を当社の持分法適用会社とするにあたり、持分法による投資利益535百万円を営業外収益に計上いたしました。

2. 2020年3月期通期の連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月13日発表)	百万円 22,300	百万円 1,740	百万円 1,810	百万円 1,150	円 銭 135.74
今回修正予想(B)	20,000	1,100	1,650	1,050	123.94
増減額(B-A)	△2,300	△640	△160	△100	
増減率(%)	△10.3	△36.8	△8.8	△8.7	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	21,999	1,718	1,750	1,113	131.48

3. 修正の理由

当社の主要顧客であります自動車関連および半導体・電子部品関連において、生産設備投資に対する慎重な姿勢が見られることから、計測制御機器およびセンサの需要が鈍化しています。また計装システムの受注高は前年同期比ほぼ横ばいで推移しておりますが、顧客指定納期が当連結会計年度内となる高額案件が少ないことから、前回公表した売上高予想を修正します。利益面につきましては、国内外事業における収益性向上に向けた取り組み等を継続しましたが、売上高減少による原価率の悪化のため、前回予想を下回る見通しとなりました。なお、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも

明陽電機の持分法適用に際し計上した持分法による投資利益を含んでおります。

当社の売上高および営業利益は、計装システム事業を中心に第4四半期に集中する傾向があり、事業機会拡大を中心に引き続き売上高および利益の改善に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであります。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上